

第2学年 図画工作科学習指導案

第2学年 23名
指導者 富田 志保
松本 拓也
授業場 体育館

1 題材名 いろいろ つんで 色いろ ならべて ～体育かんで大へんしん！～ <A表現(1)造形遊び・B鑑賞>

2 題材設定の理由

本題材は、カラーコーン、フラフープなどの体育用具を並べたり、積んだりしながら、思い付いたことを体全体を働かせて表していく造形活動である。主材料となるカラーコーン、フラフープなどは主に体育科で使用する用具である。これらは人工物特有の明るい発色と規則的な同じ形をしており、積み重ねたり、置いて並べたりすることで、形や色の様々な組み合わせをつくりだすことができる。また、軽く、ある程度の強度もあり、児童が試行錯誤を繰り返しながら、思い付いたことを繰り返していく活動に適している。そこで、本題材は、まず、「積む」「並べる」行為によって、身近な用具でつくりだす形や色の面白さを感じ取らせることから始める。常は置いてあるだけのカラーコーンも、まっすぐ、長く、円を描いて、色を変えてなど、置き方を変えるだけでいろいろな形や色をつくりだすことができる。日頃、目にする身近な用具が「積む」「並べる」の行為によって、造形物へと変身する面白さを驚きとともに感じ取らせたい。また、活動場所の体育館は広く、児童が体全体を働かせながら思い付いた活動に取り組むことができる。このように、広い場所の中で身の回りの様々な材料とかかわることで、いろいろな積み方や並べ方を試しながら、思い思いの活動を展開することができる題材である。さらに、友達同士が自由に交流できる場を設定することで、互いの表現のよさや面白さを感じ取り、様々な材料を用いた造形の活動のよさや面白さを味わうことも期待できる。

本学級の児童は、明るく素直で、何事も一生懸命であり、図画工作科においても意欲的に取り組んでいる。7月に行った造形遊び『ならべて つんで わりばしの大へんしん！』では、割りばしを並べたり、積んだりして体全体を働かせながら、思い付いたことを表した。割りばしをどんどん並べて「ガタガタ」や「グルグル」など様々な形に変身させる児童や、どんどん積んで「シャープづみ」や「ななめづみ」など積み方を工夫する児童が見られた。また、10月に行った『にじいろコレクション』では、ペットボトルに自分の気に入った色水をつくり、それを並べる活動に取り組んだ。同じ色合いのものをまとめて並べたり、虹色のように順番に並べたり、色の組み合わせのよさや美しさを感じ取ってきた。このような活動を通して、児童は、身近な材料を並べたり、積んだりすることでできる形や色のよさや面白さを感じ取ってきている。また、体全体を働かせながら材料とかかわっていく中で、互いの活動をつなげたり、見合ったり、ともにつくる喜びを分かち合う姿も見られるようになってきている。

指導に当たっては、造形遊びにおいて重要なつくる行為とその過程を適切にとらえ、児童の表現の工夫へとつなげていきたい。そのために、児童の活動中は言葉かけとともに、活動の様子をタブレットで撮影しておく。最終的な表現物からではとらえきれない児童の活動を映像や写真に記録し、評価に役立てるだけでなく、授業中の支援や振り返りの場で活用していく。また、本題材は、体育用具が主材料となるが、これまでに取り組んだ造形遊び『にじいろコレクション』でつくりだしたペットボトルの色水も材料として用いる。児童が造形遊びで経験してきた並べ方や積み方に加え、形や色の組み合わせの工夫も生かした活動にさせる等、年間を通しての系統的な学びへとつなげていきたい。そして、鑑賞場面では、広い体育館で体全体を働かせて活動した後、自分たちが並べたり、積んだりした表現を振り返る場をもつ。その際、体育館の2階から撮影した映像を電子黒板に映し出し、全体を見る機会をもつ。材料を積んだり、並べたりする個々の活動のよさや面白さとともに、全体を見渡してみる機会をもつことで、身の回りの材料が自分たちの手によって、体育館いっぱいに新しい形や色へと生まれ変わった感動を味わわせたい。

3 題材の目標

- 体育用具等の身の回りの材料を並べたり、積んだりして、思いのままに表す活動を楽しむことができる。
(造形への関心・意欲・態度)
- 体育用具等の身の回りの材料を並べたり、積んだりしながら、造形的な活動を思い付いたり、考えたりしている。
(発想や構想の能力)
- 手や体全体を働かせながら、体育用具等の身の回りの材料を使い、並べ方、積み方などを工夫して表すことができる。
(創造的な技能)
- 感じたことを話したり、聞いたりしながら、体育用具等の身の回りの材料を用いて形づくる楽しさや活動の面白さを感じることができる。
(鑑賞の能力)

4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
体育用具等の身の回りの材料を並べたり、積んだりして、思いのままに表す活動を楽しもうとしている。	体育用具等の身の回りの材料を並べたり、積んだりしながら、造形的な活動を思い付いたり、考えたりしている。	手や体全体を働かせながら、体育用具等の身の回りの材料を使い、並べ方、積み方などを工夫して表している。	感じたことを話したり、聞いたりしながら、体育用具等の身の回りの材料を用いて形づくる楽しさや活動の面白さを感じている。

5 指導と評価の計画 (全2時間 本時2/2)

時 間	学習活動	評価規準・評価方法			
		造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
二 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育用具等の身の回りの材料でいろいろな並べ方や積み方を試し、並べることや積むことを楽しむ。 ○ 体育用具等の身の回りの材料の並べ方や積み方を工夫して表し、感想を発表する。 (本時2/2) 	<p>体育用具等の身の回りの材料を並べたり、積んだりして、思いのままに表す活動を楽しもうとしている。 (観察・発言)</p>	<p>体育用具等の身の回りの材料を並べたり、積んだりしながら、造形的な活動を思い付いたり、考えたりしている。 (観察・対話・発言・表現)</p>	<p>手や体全体を働かせながら、体育用具等の身の回りの材料を使い、並べ方、積み方などを工夫して表している。 (観察・対話・発言・表現)</p>	<p>感じたことを話したり、聞いたりしながら、体育用具等の身の回りの材料を用いて形づくる楽しさや活動の面白さを感じている。 (観察・発表)</p>

6 本時

(1) 目標

体育用具等の身の回りの材料を工夫して、並べたり、積んだりするとともに、それらの材料で形づくる楽しさや活動の面白さを感じとることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	学習活動における 具体の評価規準	評価 方法
5分	1 本時の学習への意欲をもち、めあてを確認する。	○ 前時の学習を振り返り、本時の活動のめあてをもたせる。		
30分	2 体育用具等の身の回りの材料の並べ方や積み方を工夫して活動をする。	○ 並べ方や積み方の工夫を言葉かけやタブレット用いた映像を用いて紹介することで、イメージを広げたり、活動のよさを取り入れて試みたりすることができるようにする。 ○ 体育用具の扱いなど、安全面に気を付けて活動させる。	手や体全体を働かせながら、体育用具等の身の回りの材料の並べ方、積み方などを工夫して表している。 【創造的な技能】	観察 対話 発言 表現
10分	3 互いの表現を見て話し合い、本時の活動を振り返る。	○ 互いの表現を一緒に見て回ったり、2階から撮った映像を見たりすることで、表現を楽しみながら、材料を積んだり、並べたりしてできた形や色のよさや並べ方や積み方の工夫を感じ取ることができるようにする。	感じたことを話したり、聞いたりしながら、体育用具等の身の回りの材料を用いて形づくる楽しさや活動の面白さを感じている。 【鑑賞の能力】	観察 発言

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断できる状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育用具等の身の回りの材料を並べたり、積んだりしながら様々な活動を試み、表し方を工夫して、自分の思いを伸び伸びと表している。 【創造的な技能】 ・ 自分や友達のつくり出した形のよさや表し方の面白さに気づき、その楽しさを友達に伝えることができる。 【鑑賞の能力】
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の並べ方や積み方を見せたり、教師と一緒に並べたり積んだりして、自分の思いを表現できるようにする。 【創造的な技能】 ・ 友達の発言や映像等を基に、活動を振り返りながら、自分や友達の表した形のよさや表し方の面白さを感じ取ることができるようにする。 【鑑賞の能力】